

「健康・スポーツ科学研究」投稿に関する申し合わせ

1 原稿の受付

筆頭著者として「健康・スポーツ科学研究」（以下、本誌）に論文を投稿できるのは、九州産業大学健康・スポーツ科学センター（以下、センター）の専任教員に限る。ただし、センターの専任教員が指導した研究や共同研究者として参加した研究について、その教員以外の研究者を筆頭著者として本誌に発表することを希望する場合は、当該の教員から編集委員会に申し出ることができる。編集委員会はその申し出を受けて、原稿を受理するか否かを決定する。

なお、論文に使用する言語は、日本語（和文）あるいは英語（英文）とする。

原稿は本誌編集委員会に、電子ファイルと A4 の用紙に印刷したものの双方を提出すること。

2 原稿の種類と体裁

総説（Review）、原著（Research article）、短報（Short communication）とする。

総説は、健康科学やスポーツ科学に関して、著者がおこなってきた一連の研究をまとめたり、内外の研究の現状や将来への展望を論じたりするもので、必ずしも未発表のオリジナルデータが要求されるものではないが、著者の独自の見解が織り込まれていることが望まれる。

原著は、健康科学やスポーツ科学に関して、著者が行なったオリジナルな研究を論文化して発表するもので、他の雑誌には未発表のものとする。その研究から得られた知見に独創性がなければならぬ。大雑把な目安として、刷り上り 10 ページ以内とする。

短報も、健康科学やスポーツ科学に関して、著者が行なったオリジナルな研究を論文化したものである。パイロットスタディの性格をもつなど、限定された結果を短く簡潔にまとめて報告しようという時に、適している。刷り上り 3 ページ以内の論文で、総説や原著に要求される論文要旨は短報には付けない。なお、多くの学術雑誌が、短報に迅速な報告という性格を付与しているが、本誌は年 1 回の発行であり、迅速性は望めない。短く簡潔な論文で、要旨を付すまでもないものを短報として扱う。

全ての論文原稿に対して要求される事項

最初のページに、論文タイトル（和文および英文で）、うえに述べた原稿の種類、著者（センターに属していない著者については、その所属も明記）、筆頭著者の連絡先（郵便番号、住所、施設の電話番号、施設の FAX 番号、メールアドレス）を記載する。

総説（Review）

400 字（英文であれば、200 words 以内）以内の論文要旨を付す。

本文には、Systematic Review 以外は、対象、方法、結果、考察の別をつけないが、内容の理解を助けるため、適宜、章や節に分けて論じてよい。

原著（Research article）

600 字（英文であれば、250 words 以内）以内の論文要旨を付す。

緒言、対象、方法、結果、考察、結語、引用文献に分けて述べる。

ヒトを対象とした研究については、原則として、倫理委員会の審査を受けて承認されたものに限り掲載するので、その旨を方法の欄に明記すること。なお、倫理委員会の審査を要しない研究もあるという（www.kanazawa-med.ac.jp/~tiken/committee/hos/notreview-research.pdf）。そのような例に該当すると考えるときには、その旨を明記すること。

短報（Short Communication）

論文要旨は不要であるが、緒言、対象、方法、結果、考察、結語、引用文献に分けて述べることは、原著論文と同様である。ただし、参考文献の記載は簡略化して、「筆頭著者名（発行年）誌名 巻：始頁－終頁。」とする。

3 引用文献の記載方法

引用文献は番号を付して、筆頭著者の姓のアルファベット順に並べる。本文中では引用箇所
の右肩にその番号のみを記載する。日本語の文献も著者名をローマ字表記にした場合の頭文字で
アルファベット順に並べる。

例：本文 …… 下半身への陰圧負荷による反射的な血管収縮は、強度の運動をしている
筋肉では起らない⁸⁾。

引用文献

- 1) Aars H. (1968) Aortic baroreceptor activity ……
- 7) Stornetta R.L., Morrison S.F., Ruggiero D.A., et al. (1989) Neurons of rostral
ventrolateral medulla mediate somatic pressor reflex. *Am J Physiol* 256: R448-
R462
- 8) Strandell T., Shepherd J.T. (1967) The effect in humans of increased sympathetic
activity on the blood flow to active muscles. *Acta Medica Scandinavica* Suppl
472: 146-167.

総説、原著

英語、独語、仏語などの欧米の文献

著書

著者 (発行年) 引用した章のタイトル 書名 編者 頁 発行所 発行地

例：Stone J.L., Goodrich J.T., and Cybulski G.R. (2007) John Hunter's Contributions
to Neuroscience. In *Brain, Mind and Medicine: Essays in Eighteenth-Century
Neuroscience* edited by H. Whitaker, C. U. M. Smith, and S. Finger pp. 67-84
Springer New York

論文

著者 (発行年) 論文タイトル. 誌名 巻: 頁.

例：Nakano J., Zekert H., Griege C.W. et al. (1961) Effect of ventricular tachycardia
and arteriovenous fistula on catecholamines blood level. *Am J Physiol.* 200:
413-416.

日本語の文献

著書

著者 (発行年) 引用した章のタイトル 書名 編者 頁 発行所 発行地

例：平田聡、松沢哲郎 (2010) 道具を使う 人間とは何か — チンパンジー研究から見え
てきたこと 松沢哲郎編 pp. 26-27 岩波書店 東京

著書

著者 (発行年) 論文タイトル. 誌名 巻: 頁.

例：中島素子、三浦克之、森河裕子、他 (2008) 大学敷地内禁煙実施による医学性の喫煙
率と喫煙に対する意識への影響. *日本公衛誌* 9: 647-654.

Web 上の文献

著者 論文タイトル URL (接続確認日)

著者が 4 人以上の場合、3 人の名前を記し、残りは et al. もしくは 他 と記載する。

短報については、簡略化して、「筆頭著者名（発行年）誌名 巻：始頁－終頁.」とする。

例：Maeo S., et al. (2016) *J Sports Sci* 34: 2018-24.

4 原稿の校正

著者校正は原則として2回までとし、原稿の訂正は語字や脱字の修正など、軽微なものにとどめる。

5 その他

査読は、原稿の体裁についてのみ編集委員会で行なう。

内容についての査読は、一定レベルの査読者を確保できるまでは実施しないが、編集委員会が疑問を感じたときには著者に問い合わせる。

6 改廃

この申し合わせの改廃は、編集委員会の発議によって、センター教授会が行なう。

付則 この申し合わせは、平成10年10月8日より適用する

付則 この申し合わせは、平成24年12月1日より適用する

付則 この申し合わせは、平成28年9月16日より適用する